

## 「レベッカ先生と幼児英語」

1. 調査事件 「幼児の英語教育の取り組みについて」
2. 期 日 平成29年5月11日、5月16日
3. 方 法 ひまわり幼稚園と文化幼児園における幼児の英語教育の実施状況調査



### 4. 調査の概要

本年4月より子どもの丘保育園、ひまわり幼稚園、文化幼児園、子育て支援センターの4施設に於いて開始された英語教育は、早くから英語に親しみ、小学校に於ける外国語活動、教科化に向けた取り組みとして導入されたものである。本町での対象幼児数は470人程であるが、週1回、各施設を巡回し、幼児の年齢に合わせた授業が行われている。少人数にクラス分けされた授業では、年齢に合わせて、10分から30分程度で授業が行われており、授業中は一切日本語を使わず、全て英語でコミュニケーションが取られていた。

講師のレベッカさんは表情、ジェスチャーを駆使し、英単語が書かれたカードとイラスト等で園児達に発声を促し、意味を理解するように努められていた。視察を行った日はいずれも開始から4回目の授業であったが、園児達はすっかりレベッカ先生に馴染んでおり、遊び感覚で英語の体験をしていた。皆が積極的に手を挙げ、声に出していたこと、集中度には驚かされたものである。

園児が進んで手を挙げ発言する様子、動作や発声のたびに一人ひとりとスキンシップし、誉められていたことに感心させられたものである。コミュニケーション能力の養成、自信を持って人と接することが出来る大人、国際人に成長することが期待される指導内容であった。この英語指導は、(株)バンテージ・ジャパンが全国の幼稚園や保育所に外国人講師を派遣して実施しているもので、オーストラリア出身のレベッカ女史は福岡県の太宰府市でも指導に当たられているが、南関町に在住し、住民にも積極的に接しながら日本の文化を吸収されている。

平成32年度からは小学校5,6年生で英語が正式教科、3,4年生が「外国語活動」となる予定であるところからいち早く取り組んだものであるが、町としては1,2年生についても継続して外国語活動が出来るよう検討されている。

車、パソコン、スマホが当たり前になってきた今日、近い将来、英語を話せることが当たり前になる日が来るのではないかと。益々グローバル化が進行する中、教育現場、行政挙げて取り組むべき時代が来たようである。

## 「通学路の早期完成を！」

1. 日 時 平成29年4月14日(金) 午後1時30分～
2. 場 所 委員会室・現地
3. 議題及び経過



### ① 中学校通学路拡幅工事進捗状況確認

県道から高速ボックスまでの拡幅の土地交渉も終わっている。高速のボックス内の側溝については蓋をして道幅をとるようにする。農道から中学校までは土地交渉も終わり5mの拡幅工事を29年度より行う。

### ② 米田一鬼王線道路進捗状況現地確認

エコア熊本からゴルフ場下バンブーフロンティア工場までの工事は進んでいるが、その先の鬼王までの道路については、変更の可能性がある。予算との関係と路線の問題がある。

### ③ 総務産業委員会研修について

沖縄の本部町で遊休農地の解消についての研修を予定しているが相手先の受入れ状況しだいでは変更する。